

適用面積が200万m²を突破した記事が日刊建設産業新聞をはじめ3社で掲載されました。

2019年(平成31年)3月20日(水曜日) 自刊(第19630号)

建設通信新聞

給水養生工法「アクアカーテン」適用実績200万m²を突破

マラッカ、安藤ハザマ、東茨、青山機工の3社で、現特を取り外したコンクリートの給水養生工法「アクアカーテン」の適用実績が200万平方メートルを突破したと発表された。

同工法は、2010年8月の環境省選定以来、優れた効果と施工性、経済性が高く評価され、ゼネコン各社による採用が進み、適用実績が17年100万平方メートルを突破した。19年1月に200万平方メートルを突破した。一般的に道路トンネルに換算すると、延べ約100万分と推定される。

適用対象の内訳は、約7割がトンネル工事の覆工コンクリートで、約3割が明かり工事。適用面積の内訳は、85%がトンネル工事の覆工コンクリートに適用されるなど、特にトンネル分岐への貢献が顕著となっている。

同工法は、①現特を取り外したコンクリート面に覆工給水養生シート(給水養生シート)とコンクリートのすき間を充填して、シートがコンクリート全面に貼付された状態を維持する。

②給水養生シートは、100%が先ずで均等に散水される給水ホースの3点で構成している。

③タンク内に設置した水中ポンプをタイマーで隔日的に稼働させ、シート上部に水圧を配置し給水ホースから養生水を供給することにより、水中養生と同様の養生環境を再現する。

④現特を取り外した面の給水養生工法としての同工法は、特にトンネルの覆工コンクリートへの適用で認知度が年々向上している。今後同会は、同工法の一層の普及に努め、コンクリート構造体の長寿命化、安全・安心な社会インフラ整備の推進に貢献していきたい。

2019年(平成31年)3月20日(水曜日)

日刊建設産業新聞

適用実績200万m²突破

アクアカーテン普及会

コンクリート給水養生工法

トンネル覆工コンクリートでの養生の配置例

マラッカ、安藤ハザマ、東茨、青山機工の3社で、現特を取り外したコンクリートの給水養生工法「アクアカーテン」の適用実績が200万平方メートルを突破したと発表された。

同工法は、2010年8月の環境省選定以来、優れた効果と施工性、経済性が高く評価され、ゼネコン各社による採用が進み、適用実績が17年100万平方メートルを突破した。19年1月に200万平方メートルを突破した。一般的に道路トンネルに換算すると、延べ約100万分と推定される。

適用対象の内訳は、約7割がトンネル工事の覆工コンクリートで、約3割が明かり工事。適用面積の内訳は、85%がトンネル工事の覆工コンクリートに適用されるなど、特にトンネル分岐への貢献が顕著となっている。

同工法は、①現特を取り外したコンクリート面に覆工給水養生シート(給水養生シート)とコンクリートのすき間を充填して、シートがコンクリート全面に貼付された状態を維持する。

②給水養生シートは、100%が先ずで均等に散水される給水ホースの3点で構成している。

③タンク内に設置した水中ポンプをタイマーで隔日的に稼働させ、シート上部に水圧を配置し給水ホースから養生水を供給することにより、水中養生と同様の養生環境を再現する。

④現特を取り外した面の給水養生工法としての同工法は、特にトンネルの覆工コンクリートへの適用で認知度が年々向上している。今後同会は、同工法の一層の普及に努め、コンクリート構造体の長寿命化、安全・安心な社会インフラ整備の推進に貢献していきたい。

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS
 2019年(平成31年)3月20日(水) 第19630号

日刊建設工業新聞

2019年(平成31年)3月20日(水) 第19630号

記事 電話03-3433-7157 mail-ed@den.co.jp 編集 電話03-3433-7152 edit-ed@den.co.jp 広告 電話03-3433-7154 ad@den.co.jp

給水養生工法
 安藤ハザマは19日、コンが発表され、17年に適用面積が100万平方メートルに到達した。その後も順調に実績が積み重ねられ、今年に入り一般的に道路トンネルに換算すると延べ100万分に相当する200万平方メートルを突破した。2010年8月に選定された同工法は、優れた効果と施工性、経済性が高く評価され、ゼネコン各社による採用が進み、適用実績が17年100万平方メートルを突破した。19年1月に200万平方メートルを突破した。一般的に道路トンネルに換算すると、延べ約100万分と推定される。

適用対象の内訳は、約7割がトンネル工事の覆工コンクリートで、約3割が明かり工事。適用面積の内訳は、85%がトンネル工事の覆工コンクリートに適用されるなど、特にトンネル分岐への貢献が顕著となっている。

同工法は、①現特を取り外したコンクリート面に覆工給水養生シート(給水養生シート)とコンクリートのすき間を充填して、シートがコンクリート全面に貼付された状態を維持する。

②給水養生シートは、100%が先ずで均等に散水される給水ホースの3点で構成している。

③タンク内に設置した水中ポンプをタイマーで隔日的に稼働させ、シート上部に水圧を配置し給水ホースから養生水を供給することにより、水中養生と同様の養生環境を再現する。

④現特を取り外した面の給水養生工法としての同工法は、特にトンネルの覆工コンクリートへの適用で認知度が年々向上している。今後同会は、同工法の一層の普及に努め、コンクリート構造体の長寿命化、安全・安心な社会インフラ整備の推進に貢献していきたい。

鉄筋コンクリート構造物にとって表層コンクリートを密実化することはきわめて大切な施工上のポイントと言えます。養生の重要性を認識頂いている多数の新聞各社から取り上げて頂きました。